

但し今の處内地官吏の事

◇ 外地との交渉はこれから

同僚議員大石君は、日本共産党から、米国の識人院は一應を超過する事柄明たたるので、非難が起るに堪へない場合、直ちに一割を天引し一千二百萬圓を捻出する案を掲げて司法省を最後には各省の同意を得たところの蔵相から近く閣議に報告される筈である。しかしてこの案は、其の撤出中によつて生ずる財政不安本とし不足額は特別増税を出して補ふ、手廻りとして控除した所定額を捻出してゐるのである。右若しくは今のところ一覽附出に限られてゐるか、臨時は特別増税を出して補ふ、手廻りとして控除した所定額を捻出してゐるのである。右若しくは今のところ一覽附出に限られてゐるか、臨時は特別増税を出して補ふ、手廻りとして控除した所定額を捻出してゐるのである。

次いて河合大將も起たう

「男界新聞」によつて通譯のロンドン編輯委員は、第四回では疑はし怪祿の新聞に對する罪状を究明せしむる爲めをなしたけれども、第四回において漸く疑祿、矢張り星に關する罪状を問ひ入つたので、明日の案状はいよいよこれ等新聞につき疑ひに陥れる責任があるを認めてゐる。

新聞記者たる久保男も、明日は出席する筈で、二十九日府伊東長官を訪問し手摺に「きりきり」を、新聞記者たる同新聞官兼井打合を訪問した。而て明日の新聞の期は、久保男及び大村の報告に依つてはれるであらう。

懸念新聞編輯會においては眞實は原則を重へず赤赤々な報告を行つてゐる。新聞記者の疑祿を押し立てる久保男は、新聞記者の疑祿を以て、新聞記者の疑祿に關する新聞なることを以て、新聞記者の疑祿を行つた新聞記者から政府を攻撃し、疑祿するところまで行く。こゝから注目するは「男界新聞」を發行する新聞記者を、昨三月三十一日、星、財部、新聞記者より、新聞記者の疑祿を重へる報告である。

◇—倫敦條約と樞府

「附註」ロンドン新聞に對し柳原は明使館の職務員としてある事實を以て、ロンドン會議における外務總局方面の議案決定當時の事情等は相當理解し得たものと如く、政府側の事情は「證明」により之を幾多の未だ世人の間則せばる實情をも知り得た點に於て、柳原が今後大體の對英議上政府のこれぞの證明を如何に用ふるか注目されるに至つた

「樞府側」で政府の説明は



りと呼びゐる如く、殊に伊勢丹員長、田中重康會長等はアメリカ會議明年開かれる程のころ



擴大會議の代表

北見報 一日説出、廿日午後北平  
報に、大衆會盟記法、行は本日  
後太原に親赴、今夜司令部に  
て、國體と親睦、今後の親睦に  
て、國體と親睦、今後の親睦に  
が、汪精衛氏は特、大衆國民を  
表として同行せしめ、文人政府  
前盟として文武會盟府府を樹立  
るもの、自られてゐる

大軍の關内進出

は南北兩派の顔立

北平井田氏（俗） 奉天東の鍾州人 總督府次官が南北兩派の顔立に關しては神の國譚が行はれるが、張氏が國內出兵をするに付た際は南北兩派から出兵を依頼される爲めであつての延長と云はれてゐる

捕虜計進を以てして

【東京電】海軍省が、來  
京の大艦名提出はロンドン  
による補充計画が未決定のた

「文部省の新聞」

東京電報】文部省では明年度豫  
算規程案として國立大火施設費  
萬圓を計上すると

## 最後の決定は判ら

[illegible]

いろんな困難な事情で

[illegible]

秦天竺一曰漢也。聖賢良氏の北  
驛式襲氏等東北群部  
在中の政務を總攬し

東北と山西が  
 結ぶ筈はない

國府代表張

[illegible]

邦人六十一名は

漢口廿日】長沙電云、飛行機のはるに加へて、遊離民を調成せる船十隻、航し來り、長沙市中は、秩序よく、下を占む、と云ふ。

北支那軍は退却

防備軍と援軍に撃退され

韓復榘

日東下宿就任  
天津卅一日電 報復臺氏は卅  
山東省政府主席に任命された  
ポーランド議會  
太尉英選は、大蔵卿、逓料  
婦人矯尾府京城支那主權期一日  
四六時より六時半迄旭町三丁目  
ソダスト散館で開く

和國大統領モシキ氏は現

法の重慶の必要なる改正を爲  
得ずと爲 三十日上下兩院共解  
下院は十一月十六日と院は同  
三日でれく選舉を行ふことと  
朝人城同上

19

「あすの天気」

春分果は日本各地の朝日に照  
る半島の気候を代表し、安  
定な気候に恵まれて、時  
々金剛山に雲が湧き上  
る。

仕したルイス・サンチエ

佐江廿九日以前米販賣士已であ たハロルド・クロウ氏を領事官 にかけ謝辞する旨發表した。右	澤田 午前十四時四十五分 午後十一時卅五分
干諾 午前四時廿五分 午後四時四十五分	

潮山長三作

[illegible]

# 新工場落成忘記賣出

謹啓 毎度格別の御引立を蒙り雖有御  
禮申上候 夏  
弊店吟醸キッコーユウ醬油もお蔭を以  
て全幹の年に共に認められ御愛用家  
益々激増致し年々地の増しも尚且不足  
を告げ從來の工場にては漸次狹隘を來  
し昨春以來化學的設備の粹を整備せる  
合理的模範工場新築の處今日茲に完  
成し愈々大量生産を以て優良品を廉價  
に提供し得る確信を得多年の理想を實  
現すべき秋に到達致し候  
就ては平素の御鴻恩の萬一にも酬ひ聊  
か自祝の意味を兼ね景品附特賞相催し  
候間億萬の御愛用賜らん事を切に御願  
申上候 敬白

九月廿日 鳴屋釀造所

大正九年



十月末日迄

キッコークウ醬油  
小樽 壹丁 毎に  
實味 淋 (向合) 壹本  
又は  
都味 噌 (八百文) 壹  
壺 罐 進 呈

キッコークウ瓶詰  
壹本 毎に  
喜樂館入場券  
又は  
タオル一枚進呈

御買物の販賣店にてお買求を











